

本人中心支援とは何か ～支援者としての仕事について考える～

私たち「相談支援プロジェクトなごや」は「本人主体」「権利擁護」を通年のテーマとして、学習会を企画し、障がい福祉に携わる多くの支援者のみなさんとともに学び合ってきました。

当初より名古屋市の障害者支援課や子ども福祉課などにも参加をお願いし、積極的な対応もいただけており、行政の方との関係づくりも進んでできていると感じています。

5回目となる今年秋の学習会は、現在兵庫県相談支援ネットワーク代表理事などを務められ、元NHK「バリバラ」ご意見番として活躍された玉木幸則さんをお招きして、お話を伺う機会をつくることができました。

ぜひ多くの方にご参加いただいて、講演とシンポジウムをとおして、ともに学んで交流できる場にしたいと思いますので、よろしくお願いいたします。



2026年 10月31日(土) 10:00～16:00
だいでうクリニック 5F講堂

名古屋市南区白水町 9 番地 *最寄り駅:名鉄常滑線(河和線)「柴田駅」 徒歩3分
公共交通機関または、近くのコインパーキングをご利用ください。(地図は裏面)

▽参加費 **1,000 円** (会場でお支払いください)

AM 講演 講師:玉木幸則氏

**テーマ 本人中心支援をすすめていくための大切な視点
～支援付き意思決定とは～**

▽「本人中心支援」「意思決定支援」は、わたしたち支援者にとって、迷い悩みながらつねに対峙している大きな課題です。そこを掘り下げて、支援のためのヒントを語っていただきます。

PM シンポジウム

テーマ 障がい児・者の支援者としての仕事

▽シンポジストとして、各々の分野の方からの発言(5名程度)を予定しています。

- ・ 相談支援専門員
- ・ 重度障がい者支援の現場で働いている支援者
- ・ 重症心身障がい児支援の現場で働いている支援者 など

